

☆ 冬越ししたトンボたち ☆

自然観察園のトンボ池。春になって最初に見られるトンボは、オツネントンボ、ホソミオツネントンボ、ホソミイトトンボの3種。多くのトンボは卵や幼虫で越冬しますが、この3種は前年の夏に羽化し、成虫で越冬します。年越しするので「オツネン（越年）トンボ」の名前。冬でも温かい日には飛ぶ姿も見られます。春になって成熟すると、水辺に集まって交尾をし、水草に卵を産みつけます。ホソミオツネントンボとホソミイトトンボの2種は成熟すると体色があざやかな青になります。オツネントンボは地味な茶色のままですが、オスの目が青みがかってきます。

この春のために、雪の降る寒い冬を耐えてきた彼らを、ぜひ一度ご覧ください。



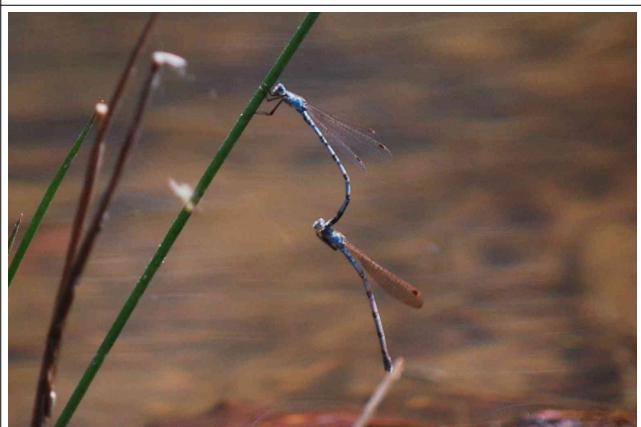
オツネントンボ(♂)



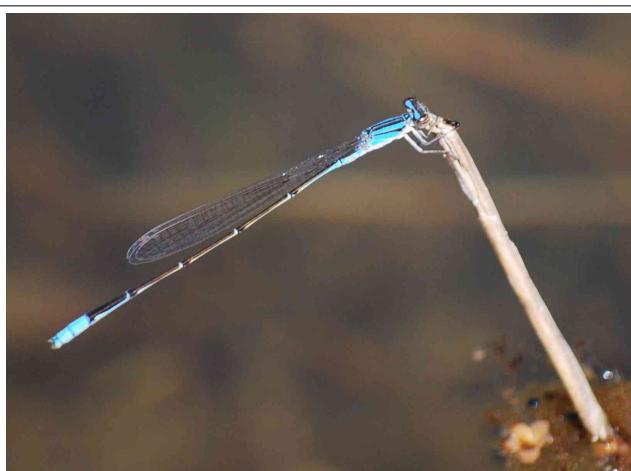
オツネントンボのカップル。左がメスで産卵している。



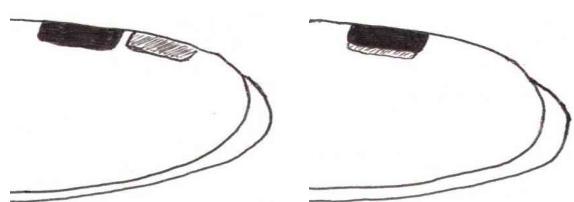
ホソミオツネントンボ(♂)



ホソミオツネントンボのカップル



ホソミイトトンボ(♂)



オツネントンボ

ホソミオツネントンボ

〈オツネントンボとホソミオツネントンボの見分け方〉
はねをたたんだ時に、前ばねと後ばねのもようが、
ならぶのがオツネントンボ(上図左)、重なるのがホソ
ミオツネントンボ(同右)です。